

【2020年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
富士山と環境		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
神谷 直樹	C312	nkamiya		木曜日 10:30~12:20	
授業の目的・概要	富士山とそれを取りまく環境に対する関心を深め、実地に基づく調査・研究の方法や具体的な成果を吸収することを通じて環境科学の基礎を学ぶことを目的とする。富士山周辺の環境や、地球環境と人間生活のかかわり、世界文化遺産としての富士山について、それぞれの分野で研究している先生方に、わかりやすく講義していただく。Microsoft Teams を利用して同時双方向型の遠隔授業を行う。				
学習上の助言	Microsoft Teams を利用して毎回の講義のテーマの概要を事前に知らせるので、テーマに関する予習を行い、同時双方向型の授業中に適切な質問ができるように準備しておくこと。				
教科書	使用しない。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	自然観察のさまざまな方法について理解し、説明できる。			HSU(2)	
②	環境問題の現状と課題について理解し、説明できる。			HSU(1), HSU(2)	
③	環境保全のために必要な対策について理解し、説明できる。			HSU(1), HSU(2)	
④	富士山や富士五湖の成り立ちと特色を理解し、説明できる。			HSU(2)	
⑤	火山の噴火と防災について正しい知識を身につけ、説明できる。			HSU(1), HSU(3)	
⑥	芸術の源泉、信仰の対象としての富士山について理解し、説明できる。			HSU(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	この授業の概要。富士山をとりまく環境の研究や研究方法を知ることの意義について学ぶ。 9月4日(金)1限 [神谷直樹]	同時双方向型授業	富士山とその周辺の環境の概要について調べておく。	1	
2	人間にとって環境とは何かを考え、環境問題の歴史や環境科学について学ぶ。 9月11日(金)1限 [池口 仁]	同時双方向型授業	環境問題について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
3	地球環境変動について学ぶ。大気循環、水循環、地球温暖化について理解する。 9月18日(金)1限 [山本真也]	同時双方向型授業	環境問題について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
4	国立公園や世界遺産の制度を学び、富士山の自然資源の管理について現状と課題を理解する。 9月25日(金)1限 [三ツ井聡美]	同時双方向型授業	世界遺産について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
5	環境保全のためのモニタリング、衛星画像、リモートセンシングについて学ぶ。 10月2日(金)1限 [杉田幹夫]	同時双方向型授業	衛星の用途について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
6	植物群落の成り立ちと多様性、森林、攪乱、遷移、生物多様性、草原、外来生物について学ぶ。10月9日(金)1限 [安田泰輔]	同時双方向型授業	富士山の植生について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
7	信仰の対象としての富士山について学ぶ。富士山信仰の起源、修験道、富士講について理解する。10月16日(金)1限 [神谷直樹]	同時双方向型授業	富士山信仰の歴史を調べておく。講義ノートの整理。	2	
8	日本における植生の歴史と概要、植林地での生物の多様性について学ぶ。 10月23日(金)1限 [大脇 淳]	同時双方向型授業	植林地の生物について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
9	火山噴火のめぐみとしての富士山と周辺環境について学ぶ。富士五湖の特色を理解する。 10月30日(金)1限 [内山 高]	同時双方向型授業	富士五湖について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
10	富士山を取り巻く自然災害とその対応について理解する 11月6日(金)1限 [久保智弘]	同時双方向型授業	周辺の自然災害について調べておく。講義ノートの整理。	1	
11	富士山麓の動物について学ぶ。森の哺乳類、鳥類、コウモリについて理解する。 11月13日(金)1限 [中川雄三]	同時双方向型授業	哺乳類や鳥類について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
12	大型草食獣の行動と生態、その調査方法を学ぶ。富士山の大型草食獣の特色を理解する。 11月20日(金)1限 [高田隼人]	同時双方向型授業	大型草食獣について調べておく。講義ノートを整理する。	1	
13	民俗学、生態人類学、聞き取り調査、個別調査、参与観察について学ぶ。 11月27日(金)1限 [小笠原 輝]	同時双方向型授業	富士山を巡る生活の歴史を調べておく。講義ノートの整理。	1	
14	芸術の源泉としての富士山について学ぶ。絵画や文学に見る富士山について理解する。 12月4日(金)1限 [神谷直樹]	同時双方向型授業	芸術に見る富士山について調べておく。講義ノートの整理。	1	
15	富士山をめぐる様々な研究について振り返り、医療職・福祉職の仕事と関連づける。 12月11日(金)1限 [神谷直樹]	同時双方向型授業	期末レポートを完成させる。		

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	55	0	0	45	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	25	30
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	学期末にレポート（4000 字以上）を提出する。授業中に示したテーマに関連する適切な文献・資料を収集し、それをもとに自分自身の考察をレポートにまとめる(55%)。				Microsoft Teams を利用して総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業の終わりに小レポートの提出を求める。理解したこと、疑問に思ったこと及び自分の考えなどについて記述してもらう（3 点 ×15 回）る(45%)。				毎回授業の初めに前回提出された小レポートを採点する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
<p>担当教員：神谷直樹</p> <p>この講義は、山梨県富士山科学研究所の先生方をはじめ、各分野の専門研究者のご協力によって成り立っている。普段は学ぶ機会がない分野の講義も多いので、未知の分野への旺盛な知的好奇心を忘れずに受講することが必須である。同時双方向型の授業中はノートを取りながら傾聴し、授業の終わりには Microsoft Teams を使って小レポートを毎回提出しなければならない。期末レポート（4000 字以上）の作成に際しては、序論（「はじめに」）・本論（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）・結論（「おわりに」）という全体の構成に留意し、末尾には参考資料の正確なリストを明記すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 							